



ともだちとあそぼう！



はにゆうしりつとしょかん

【ともだち】

<p>「ともだちや」 内田麟太郎/作 偕成社 E/オ</p> <p>ある日、キツネは「友だち屋さん」を始める</p>  <p>ことをおもいつきました。1時間100円で友だちになってあげるので。キツネは友だちを上手に作れるのでしょうか。</p>	<p>「ともだちになろうよ」 中川ひろたか/作 アリス館 E/ト</p> <p>なんでともだちなんか必要なの？ともだちなんかいらぬ。そんなワニの男の子のところに、ちょっとおませなウサギの女の子がやってきて…。</p> 
<p>「ようこそあたらしいともだち」 リチャード・スキャリー/作 好学社 E/ヨ</p> <p>ある日、うさぎがみつけた卵から初めて見るふしぎな生き物がうまれた。たいもうとっぽと泳ぎ方は、ピーパー、くちばしとみずかきはカモに似ているこの子はだれ？</p> 	<p>「ともだち できたよ」 内田麟太郎/作 文研出版 E/ト</p> <p>友だちが欲しいうさぎは「おれと友だちにならないか」という手紙をもらいますが、送り主がわかりません。しょんぼりするうさぎのそばにやってきたのは…</p> 
<p>「あ・そ・ぼ」やで！ くすのきしげのり/作 くもん出版 E/ア</p> <p>日本の学校に転校してきたユキちゃん。新しい学校の最初の日、ひとりぼっちのユキちゃんに、はじめての「ともだち」が教えてくれたこととは…。</p> 	<p>「ともだちみつけた」 森山京/作 あかね書房 E/ト</p> <p>森の近くの新しい家に、ぶたの家族が引っ越してきました。さっそく外へ飛び出して、家の周りを見渡した子どもたち。すると、しげみの中から誰かがのぞいて…。</p> 

<p>「ともだちのつくりかた」 たかいよしかず/作 大日本図書 E/ト</p> <p>きみはどんな子？自分の好きな色や食べ物、将来の夢、得意なこと、好きなスポーツなど、自分のことがわかったらともだちを作ろう！自己紹介ページ付き。</p> 	<p>「あしたもともだち」 内田麟太郎/作 偕成社 E/オ</p> <p>僕のともしもオオカミさんは、かっこいい頭もいい。オオカミさんと遊んでいると時間がたつのを忘れちゃうキツネだけど、このごろ避けられているみたいで…。</p> 
<p>「いちばんのともだち」 ジェニファー・K・マン/作 光村教育図書 E/イ</p> <p>サムが一番の友だちはぬいぐるみのジャンプ。なにをするときもいっしょです。ところがある日、砂浜にジャンプを忘れてしまい…。</p> 	<p>「ゾウとともだちになったきつちゃん」 入江尚子/文 福音館書店 E/ゾ</p> <p>動物園でゾウと出会ったきつちゃんは、ゾウのことが大好きになりました。何度も動物園にやってきて、ゾウのチャンボムに話しかけ続けていると…。</p> 
<p>「ほげちゃんとおともだち」 やぎたみこ/作 偕成社 E/ホ</p> <p>ひろくんの家にゆうちゃんと一緒に遊びにいったぬいぐるみのほげちゃん。ひろくんのおもちゃにちょっかいを出しますが、相手にされず…。</p> 	<p>「わたしのともだちポルポちゃん」 もとしいづみ/文 講談社 E/ワ</p> <p>たこのポルポちゃんは、とってもはずかしがりやです。けどわたしたちはとってもなかよし。いつも一緒です。ある日、わたしはお城に招待されて…。</p> 
<p>「パンダともだちたいそう」 いりやまさとし/作 講談社 E/ハ</p> <p>「ピーッ！」という笛の音とともに始まる、パンダたちのたのしいたいそう。おにぎり。だるま。めがね…。さあ、つぎはなにかな？</p> 	<p>「みんなともだち」 二宮由紀子/作 教育画劇 E/ミ</p> <p>洗濯ロープにぶらさがったパジャマの「うわぎ」と草の上の「うさぎ」、川の中の「うなぎ」は、すぐに友だちになりました。そこに新しい友だちが現れて…。</p> 